

## 中央棟完成 職員室を統合

福井大附義務 小中一貫 連携密に



福井大附属義務教育学校に完成した中央棟のプロジェクトルーム=26日、福井市の同校

福井大附属義務教育学校(福井市二の宮4丁目)の前期課程(小学校)と後期課程(中学校)の校舎の間に「中央棟」が完成し26日、記念式典が行われた。両課程の職員室を中央棟に統合し、2017年度に始まった小中一貫教育の連携強化につなげる。

職員室で、個人のデスクをあらかじめ割り振らないフリーアドレスを導入し、教諭間の連携を深めやすとした。

2階のプロジェクトルームは、仕切りやデスクの配置を場面に応じて変えられる。児童生徒が自ら課題を設けて探求するプロジェクト型学習などに活用する。

式典には、福井大関係者ら約30人が出席。生徒会長の鈴木冨月さん(8年)が、職員室が統合されたことに「改めて附属が小中一貫校になったのを実感した。これを機に前期と後期のつながりをより深めていきたい」とあいさつした。

(細川善弘)